

連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会
発行責任者 高橋幸雄
発行日 2018年5月15日

第89回連合メーデー胆江地区集会を開催

今年の胆江地区集会は、5月1日13時30分から胆沢文化創造センターにて開催しました。当日は天候にも恵まれ、絶好のメーデー日和となり850人が参加しました。

佐藤昭文副実行委員長の開会宣言に続き、三好浩史実行委員長は「8時間は労働に、8時間は眠りに、8時間はわれらの自由に!!」と長時間労働からの脱却を求めて1886年にゼネストを行なったのがメーデーの起源であると紹介しました。



開会宣言に続き参加組合旗を紹介

100年以上経っても未だに改善されない業種が多々あり、メーデーの起源を心に刻み、すべての仲間の連帯で「ディーセント・ワーク」と「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて全力を挙げて取り組むことを確認しました。

小沢昌記奥州市長・高橋由一金ケ崎町長の祝辞の他、佐藤郁夫・高橋政一・菅原由和奥州市議会議員、千葉正男金ケ崎町議会議員、及川博平和環境胆江地区労働組合センター議長、藤原秀輔労金奥州支店長、金田徹全労済北上支所長に忙しい中を来賓として駆けつけていただきました。



会場は超満員で立ち席も



小沢昌記奥州市長



高橋由一金ケ崎町長

真に働く者の立場に立った「働き方改革」を実現し、誰もが健やかで安心して働き続けることができる社会を今こそ創ろうとのメーデー宣言を確認した後、三好浩史実行委員長の音頭によるガンバロー三唱で集会を閉じました。当日は、連合・愛のカンパ活動や、プラカードコンテスト、お楽しみ抽選会、また加盟組合によるフリーマーケット、新たにパフォーマンスショーとしてマジックショー&バルーンアートなどを盛り込みながら楽しく開催しました。なお、連合愛のカンパ金はフリマ売上金寄付と合わせて25,698円となりました。ご協力に感謝申し上げます。



三好浩史実行委員長の音頭でガバロー三唱



毎年恒例の大抽選会、前沢牛は誰の手に?



集会前には2台の街宣車でメーデーをPR



今年のフリーマーケットは2店舗が出店、売上の一部は愛のキャンパに寄付していただきました



マジック&バルーンアート



プラカードコンクール最優秀賞